

No.	名称	実施者情報	役割	年月日情報	場所	主催	参加者情報	概要
1	和算の教材への活用研究	安部 利之	講師	①2025年7月26日(土) 13:30～16:00 ②2026年2月14日(土) 13:30～16:00	多目的講義室	教材研究フォローアップ講座 理科教育研修会	①16人 高校教員(4人) 大学教員(5人) 大学生・大学院生(6人) 和算研究者(1人) ②6人 高校教員(2人) 大学教員(2人) 大学生・大学院生(1人) 和算研究者(1人)	和算研究会では愛媛大学や松山大学の教員・学生を始め現職教員も含めて研究活動を行っております。その活動や研究の紹介、そして教材として活用できる問題やその活用方法などを紹介したいと考えております。
2	春の植物観察 in えひめこどもの城（野外観察）	中村 依子 大高 茂範	講師	2025年4月19日（土） 9時半～12時	えひめこどもの城	教材研究フォローアップ講座 理科教育研修会	11人（大学生9人，大学院生2人）	えひめこどもの城を散策しながら，主に春の植物を観察します。植物の生態や名前の由来などについて知りたい方は，ぜひご参加ください。
3	愛媛の岩石標本づくり	佐野 栄	講師	2025年9月27日（土） 10時～12時	理科共同学生実験室3	教材研究フォローアップ講座 理科教育研修会	6人 （小学校教員：1人、塾講師：1人、大学院生：2人、学部生：2人）	愛媛は国内でも多様で珍しい岩石や鉱物を観察できる県です。それは県内を北から領家帯，三波川帯，秩父帯，四万十帯といった，日本列島を形成するほとんどすべての地質帯が帯状配列するからです。今回の研修では，特に南予地域に広がる秩父帯と四万十帯を構成する岩石の標本づくりを行う予定です。
4	新しい石けん教材を体験してみよう	向 平和 小原 孝昭	講師	2025年12月6日（土） 10時～12時	理科共同学生実験室1	教材研究フォローアップ講座 理科教育研修会	5名（大学教員3名，大学院生2名）	新しく開発された石けん教材について紹介します。本教材は愛媛県内の企業が特許をとった技術が採用されており，短時間でセッケンが作ることができます。反応の早さと激しさにびっくりすると思います。
5	企業が開発したSTEAM教育教材の紹介	隅田 学	コーディネータ	2026年2月21日（土） 10時～12時	理科共同学生実験室1	教材研究フォローアップ講座 理科教育研修会	17名（現職教員12名，学生5名）	STEAM（Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematics）教育は，その学びが社会とつながり，社会総出で協力することが重要です。愛媛大学は，産・学・官・公・教が連携してSTEAM教育を推進する一般社団法人「学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)」に特別会員として参画しています。本研修では，参加者とともに，PLIJ STEAM Learning Communityに公開されている企業が開発した教材を学び，その実践可能性について考えます。
6	技術の見方・考え方を働かせるための教材製作	大西義浩 玉井輝之 正田義明	講師	2025年12月6日（土） 13時～17時	技術多目的演習実習室2	教材研究フォローアップ講座 理科教育研修会	7人 内訳：公立中学校校長1人，松山市教委指導主事1人，公立中学校教諭5人	技術分野は単なる自然科学の応用ではなく，複数の側面から要求・条件を吟味し開発・利用することとされています。このような技術の見方・考え方を働かせるための教材を考えます。
7	モザンビーク・マプト教育大学訪問団への対応	向 平和 玉井輝之 正田義明	話題提供	2025年12月9日（火） 9時～12時	教育学部会議室・各種実験室等	国際連携課	マプト大学 FERRÃO Jorge学長 Arsénio José Mindú理学・数学部長 Ézar Nharreluga拡張・イノベーション部門長 Herieta Massangoエネルギー・環境修士課程ディレクター Amelia Munharo財務部長	モザンビークのマプト教育大学の愛媛大学の訪問に対応し，STEM教育についての意見交換などを行った。
8	青少年のための科学の祭典松山大会	中本 剛 向 平和 佐野 栄 松浦紀之 中村依子 玉井輝之	講師	2025年10月25日 （土）・26日（日） 9:30～16:00	教育学部2号館・3号館	青少年のための科学の祭典松山大会実行委員会	両日合わせて3000名	青少年のための科学の祭典松山大会を開催した。40以上のブースと科学ショーなどを実施した。
9	中堅研修1教科等指導研修「一次関数とみなして問題解決する学習のあり方」	吉村直道	講師	2025年8月4日	松山市教育研修センター	松山市教育委員会・松山市教育研修センター	中学校教員3名	中堅研修として，誰一人取り残さない学び，確かな学びを目指して，一次関数とみなして問題解決する事例の指導のしかたについて講義をする
10	令和7年度教科等研究大会講話「ICTの効果的な活用」	吉村直道	講師	2025年11月18日	今治市立国分小学校	今治市教育委員会	小中教員30名弱	小学校算数科，中学校数学科の学習におけるICTの活用について，ICTのメリット・デメリットを整理しながら効果的な活用のしかたについて解説をする。
11	データサイエンス入門	吉村直道	講師	2026年1月28日	愛媛大学附属高等学校	教育学部附属科学教育研究センター	高1生120名＋高校教員8名	課題研究に取り組むにあたり，有意差についての理解と研究倫理に基づいたアンケート調査の実施について解説する
12	日本生物教育学会四国支部第9回研究会シンポジウム	向 平和	コーディネータ	2026年3月7日（土） 15:00～17:00	理科共同学生実験室1	日本生物教育学会四国支部 理科教育研修会	高校教員を中心に30名程度	テーマ：生物教員の養成の現状と課題 フィールドに強い生物教員はこれから養成できるのか？ 話題提供：吉澤樹理（香川大学教育学部） 田川一希（鳴門教育大学） 中城 満（高知大学教育学部） 渡邊重義（熊本大学教育学部） コーディネータ：向 平和（愛媛大学教育学部）